

# ワーキング部会報告書

|      |  |     |              |    |                    |
|------|--|-----|--------------|----|--------------------|
| 第2部会 | B班   | 開催日 | 平成26年8月5日(火) | 会場 | さいわいプラザ4階 教育委員会会議室 |
| テーマ  | 保育ニーズを支えるには～今後10年の0・1歳児の保育ニーズの担い手づくり～  |     |              |    |                    |
| 内容   | <p>〇〇・1歳の理想の子育てとは？また理想の子育てを行うにあたり必要なものは何か。(個人の立場から)</p> <p>(理想の子育て)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・3歳までは家庭で子育て(保育園に来ては病気がちで欠席が多い)</li><li>・父親が支える子育て(父親が一生懸命に子育てにかかわっている子は伸びる)</li><li>・コミュニティ全体での子育て(母親からのヘルプに気づける・助ける社会)</li></ul> <p>(理想の子育てを行うにあたり必要なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・企業の子育て支援制度の充実</li></ul> <p>(育休延長、短時間勤務、子育て給付、子育てを終えた女性の社員雇用、チーム制等)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・同居、コミュニティの支援体制(安心して子育てができる、母親が1人の時間を持てるような配慮)</li><li>・多様な選択肢の提供(病児・休日等働かなければならない親を支えるサービスの提供)</li><li>・保育士(保育士不足が深刻)</li></ul> <p>〇上記を実現するために自分の立場でできることは何か。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ストレスでない「夫」の育成(家庭における子育ての協力体制の構築、男性の育休制度の創設等)</li></ul> <p>※保育士を対象にストレスに係る研修会を行った際のアンケートで、ストレスの原因として最も多かったのが「夫」であった。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保育士の離職率の低下、質の向上(コミュニケーション能力、作文能力、専門職という意識づけ等)</li><li>・親から園活動にかかわってもらうためのしくみづくり(土曜日開園等)</li><li>・子どもの目線からみたよりよい保育(教育)環境づくり</li></ul> |     |              |    |                    |